



1月園だより

令和6年1月4日
目黒区立原町保育園園長

🌱 あけまして おめでとうございます。
今年もよろしくお願ひいたします 🌱

今年も子どもたちの笑顔と元気な声で新年がスタートしました。お正月休み中に「あけましておめでとう」という新年の挨拶をたくさん聞いた子どもたちは、久しぶりに会う友達や職員に自分なりの表現で挨拶を伝えてくれます。挨拶は人と人が気持ちよく生活するうえで、日常生活では欠かせないコミュニケーションの基本のひとつです。保育園には様々な職種の大人が子どもたちと関わっています。毎朝、玄関では用務職員と「おはよう。今日は走ってきたんだね」「うん。すごいでしょ。汗かいちゃった」と話が弾み、調理職員とは階段にある大きな調理室の窓越しに「今日のごはんはなあに。見せて～」「ほら、大きな大根さんだよ」と食材を見せてくれます。原町保育園の階段にある調理室の窓は子どもたちに大人気で、朝に限らず階段を上り下りするたびに窓をのぞき込んで目を丸くして、料理の途中経過に見入っています。時には「今日、誕生日なんだ～」と言う子どもに「おめでとう。♪ハッピーバースデートゥー♪」と調理職員みんなで手拍子をしながら歌ったりと、窓越しのコミュニケーションが繰り返されています。挨拶や会話を通して子どもたちの社会性も身につくと思います。今年も元気に笑顔で過ごせる明るい社会となりますよう心から願ひます。職員一同、子どもたちの健やかな育ちを願ひ、保育力向上を目指していきます。

1. 2月は各クラスとも懇談会を予定しています。保護者の皆様とともに、子どもたちの成長を確認し、次年度への保育と子どもたちの成長発達に繋がる懇談会にしたいと思ひます。お忙しい時期とは存じますが是非ご都合をつけてご参加くださいますよう、お願ひいたします。



懇談会の予定

- 5歳児クラス
- 3歳児クラス
- 0歳児クラス
- 1歳児クラス

※ 3階ホールにて



原町ファームの冬野菜（ぽぷら組）

園庭のプランターでブロッコリーを栽培しています。グループごとに順番で水やりをしているので「大きくなって」「この前見たときより、モリってしてる」と生長を喜んでいました。先日、大きく育ったブロッコリーを収穫し、栄養士に子どもたちの目の前で茹でてもらいました。透明鍋なので中の様子がよく見えます。「お湯の中でブロッコリーが立ってる」「緑だらけ」「ブロッコリー祭りだね」などと話していると、段々と良い香りが漂ってきました。「いいにおい」「早く食べたい」と期待で胸が膨らみます。



昼食時、おかず皿に乗せてもらうと「いただきます」の挨拶と同時に、ブロッコリーを手に取りパクリ。「おいしい」「もっと食べたい」という声が聞こえてきました。普段は残りがちな茎も完食するほど好評でした。自分たちで育て、目の前で茹でてもらったブロッコリーの味は格別だったようです。

のびよう会を終えて

12月8日に、幼児クラスの“のびよう会”が行われました。保護者の方の前で劇と合奏を行い、のびのびと楽しそうに表現していました。“のびよう会”を終えての各クラスの様子を紹介します。

さくら組（3歳児クラス） 『ぼぽんのぼ〜ん』

のびよう会が終わった後も劇ごっこが続いています。保育士が園庭で鉄棒にバスマットを立てかけ「うねのくちから はっぱをいれて…」と言うと、近くで見ていた子が「なにしているの?」と言うので「葉っぱを入れて」と保育士が言うと園庭にある葉を拾い、バスマットの穴から葉を入れます。劇でこのやりとりを何度もやっていたので、すぐに「そうだ!〇〇をくださいな」と物語の再現遊びが始まりました。このやりとりを見ていた他の子もやってきて「ぼんたやりたい」や「わたし、おさる」などと好きな役になっています。何度もやりとりを繰り返しているうちに、物語には出てこないものを言い始めました。隠れていたぼんたは、困った顔をしながらも園庭探しまわり、似ているものを見つけては「ぼぽんのぼ〜ん」と言って出しています。待っている子は何が出てくるかとわくわくしながら、やりとりを楽しんでいました。これからも、表現することやイメージしたことを友達と共有して遊ぶ楽しさを感じられるようにしていきたいです。



ぼぶら組（4歳児クラス） 『違う役もやってみたい』

のびよう会が終わってからも♪ひと〜つひよけに すげのかさ♪と劇中歌を歌ったりして、劇の余韻を楽しんでいる子どもたちです。そこで、当日とは違う役になって劇の再現遊びをすることにしました。みんな、友達がやっていた役のセリフや動きをよく覚えていて、少し照れながらも大きな声でセリフを言って楽しんでいました。時々「あれ?なんだったっけ。。。と忘れてしまう子に、本番でその役をやっていた子がすかさず「〇〇だよ。真ん中に来てから、前を向いてしゃべるんだよ」とセリフや動きを教え合い、劇あそびの再開です。時には職員がやっていた大道具の出し入れや置く位置までしっかりと覚えており「先生、こっちに置くんでしょ」と逆に担任が教えられる場面もありました。これからも、イメージしたことを描いたり作ったりなど、いろいろな方法で表現活動を楽しみたいと思います。



くすのき組（5歳児クラス） 『気持ちが一つになった発表会』

クラス全員で背景や大道具を作り役割を決めて楽しんできた劇遊びの発表会当日、出番が来るのをドキドキしながら待っています。いつもは舞台裏でもおしゃべりの花が咲いていますが「最後に歌っておこうよ」「セリフ確認するね」と、ホールに声が聞こえないように小さな声で確認しあう様子が見られました。その結果、本番では今までの練習の成果が発揮できました。発表会の翌日にはみんなで作った稲で、しめ縄づくりをしました。「2024年は辰年(たつどし)だね、辰ってりゅうだよね」ということで、しめ縄飾りには折り紙でエルマーに出てくる竜をつけようと決めました。竜を折るのは難しかったのですが、竜を作りたいという強い気持ちで、細かい部分も頑張って折りました。クラスが一つになって作り上げた発表会の熱い思いが、新年の素敵な飾りにも表れています。